

平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

公益財団法人 岩手県下水道公社

平成 26 年度 事業報告書（総括）

基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とし、公益目的事業と収益事業を実施した。

1 公益目的事業

下水道の普及啓発事業

下水道施設の管理運営支援事業

下水道技術者育成事業

下水道に関する調査研究事業

排水設備工事責任技術者の資格認定事業

2 収益事業

下水道施設整備支援事業

アセットマネジメント支援事業

1 公益目的事業報告書

下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することを目的として、1の公益目的事業と2の収益事業を実施したところである。

また、東日本大震災津波による市町村の下水道施設の被災に対する支援として、沿岸部の市町村の災害復旧支援を行った。

1 下水道の普及啓発事業

(1) 施設見学

流域下水道の4浄化センター（都南・北上・水沢・一関）において、随時、施設見学を実施し、下水道の役割や下水処理の仕組み等を説明し、下水道の普及啓発に努めた。見学者は児童・生徒を中心に57件、2,347人であった。

（平成26年度の目標は見学件数50件）

(2) イベント

下水道の普及啓発イベントを5件開催した。

（平成26年度の目標は4件）

- ・ 7月 29日(火) 小学生を対象とした「夏休み下水道教室」（北上浄化センター）の開催 9組20人
- ・ 9月 6日(土) 施設見学会「下水道探検ツアー」（都南浄化センター）の開催 102人来場
- ・ 11月 15日(土) 普及啓発イベント「なるほど！下水道」（イオンモール盛岡）の開催 394人来場
- ・ 11月 26日(水) 汚水処理連携セミナー（エスポワールいわて）の開催
テーマ：新都道府県構想について
- ・ 1月 24日(土) 普及啓発イベント「なるほど！下水道」（イオンモール盛岡南）の開催 610人来場

(3) 下水道出前講座

平成26年度は19回実施した。（小学校19校 610人）

（平成26年度の目標は8回以上）

引き続き、小学校などの教育の場で下水道の役割等が取り上げられるよう働きかけるとともに、住民説明会等での活用について市町村へPRし、水洗化率の向上に結びつく活動としていく。

(4) 下水道展 ‘14 大阪への出展

大阪で平成 26 年 7 月 22 日から 25 日までの 4 日間開催された「下水道展 ‘14 大阪」に出展し、東日本大震災以降全国からの復旧・復興支援に感謝するとともに、現時点における復旧・復興の状況について情報発信し、また高台造成工事や区画整理が進行中であり、上下水道の敷設工事などは、これから本格化を迎えるので更なる支援を訴えた。

(下水道展全体の来場者 85,720 人、岩手県ブースの来場者 300 人超)

2 下水道施設の管理運営支援事業

(1) 流域下水道施設

ア 北上川上流流域下水道の都南処理区、花北処理区及び胆江処理区並びに磐井川流域下水道の一関処理区の処理施設において、適正で効率的な維持管理の運営を支援するため、民間事業者の行う運転操作や水質汚泥分析等について履行確認や評価及び指導助言を行うとともに設備・管渠等の補修、点検調査に係る積算資料の作成や監督等の管理運営支援業務を主体的に実施した。

各処理区(浄化センター)における下水処理状況等は次のとおりである。

処 理 区 (浄化センター)	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月	一日平均
都南処理区 (都南浄化センター)	流入水量 47,571 千 m ³	130,333 m ³ /日
	脱水汚泥量 15,626 t	42.8 t/日
花北処理区 (北上浄化センター)	流入水量 11,784 千 m ³	32,286 m ³ /日
	脱水汚泥量 6,087 t	16.7 t/日
胆江処理区 (水沢浄化センター)	流入水量 5,275 千 m ³	14,453 m ³ /日
	脱水汚泥量 2,586 t	7.1 t/日
一関処理区 (一関浄化センター)	流入水量 2,992 千 m ³	8,198 m ³ /日
	脱水汚泥量 1,506 t	4.1 t/日
4 浄化センターの 計	流入水量 67,622 千 m ³	185,270 m ³ /日
	脱水汚泥量 25,805 t	70.7 t/日

・昨年度と比較し、夏期の降雨が少なかった。特に合流式である都南浄化センターの流入水量が大幅に減少した。

$$67,622 \text{ 千 m}^3 \text{ (26 年度)} / 69,926 \text{ 千 m}^3 \text{ (25 年度)} = 96.7\%$$

・放流水質の管理目標 BOD 5mg/L 以下 (目標達成日数 80%以上) の達成状況は、測定日数 205 日中 205 日達成した。(目標達成日数 100%)

イ 流域下水道施設内の省エネ化を図り、処理場の維持管理費を縮減するため、既存の照明を LED 照明への交換工事を実施し、岩手県へ寄付を行った。

工事期間：平成 26 年 9 月 16 日～平成 27 年 2 月 13 日

工 事 費：43,950,600 円 (寄付額)

(2) 公共下水道施設

市町村が管理する下水処理場において、運転計画の作成など維持管理全体のマネジメントを行うとともに、民間事業者の行う運転管理や水質汚泥分析等に係る履行確認や評価を行うなど管理運営支援業務を実施した。

平成 26 年度は、奥州市（前沢下水浄化センター）、洋野町（種市浄化センター、大野浄化センター）、一戸町（一戸町終末処理場）、九戸村（九戸村浄化センター）の 4 市町村 5 処理場の管理運営支援業務を実施した。

簡易に測定できる放流水透視度にて管理し、水質悪化時には速やかに対応を行った。放流水透視度の管理目標 100cm 以上（目標達成日数 80%以上）の達成状況は、測定日数 211 日中 190 日達成した。（達成日数 90%）

3 下水道技術者育成事業

(1) 技術研修

市町村下水道担当職員等を対象に、下水道管理者として修得しておくべき基本的な事項等についての「技術研修」を、7 月 30 日から 8 月 1 日までの 3 日間実施した。受講者は、20 市町村、46 人であった。

参加できなかった市町村には、研修会資料を送付しフォローした。

（平成 26 年度の目標は、参加市町村数 30 市町村）

(2) 日本下水道事業団研修支援

下水道の適正かつ効率的な管理運営を行うために、日本下水道事業団の「下水道研修」に参加した市町村職員の受講料を 11 市町村へ支援した。

管渠設計コースが 7 市町、処理場管理が 1 村、企業会計の移行の準備と手続きが 2 市町、接続・水洗化促進と情報公開が 1 市となっている

（平成 26 年度の目標は、利用市町村数 30 市町村）

(3) 公営企業会計研修

地方公営企業会計の導入への対応が急務であることから、日本下水道事業団より講師を招き「地方公営企業会計」をテーマに研修会を 2 回開催した。このほか、研修のフォローアップとして個別相談会を開催した。

（平成 26 年度の目標は、年 2 回の開催）

第 1 回研修：8 月 4 日から 8 月 6 日までの 3 日間（受講者 51 人）

基本方針の検討、資産調査、会計システム、

事例発表（矢巾町「地方公営企業法適用のビフォーアフター」）

第 2 回研修：10 月 20 日から 10 月 22 日までの 3 日間（受講者 66 人）

庁内調整、簿記の基礎及び財務諸表事例、上下水道一元化

個別相談会：2 月 23 日から 2 月 24 日の 2 日間（県及び 10 市町）

4 下水道に関する調査研究事業

【リン回収を目的とした汚泥処理工程での元素類の挙動調査に関する共同研究】

流域下水道施設における資源の有効利用に関する調査研究として、岩手大学と共同で実施した。維持管理上の課題として汚泥処理系配管閉塞の原因の一つと考えられているMAP（リン酸アンモニウムマグネシウム）の生成を抑制するとともに、リン資源枯渇の解消に貢献する可能性のある下水汚泥焼却灰へのリン移行効率の向上を図る手法を検討するものである。

平成26年度は、この研究の最終年として「余剰汚泥から金属類の抽出除去及びリン固定化、焼却灰から抽出したリンの電気透析法を用いた回収」について調査した。

今回の調査において、余剰汚泥からMAPを形成する金属を溶出する手法として、余剰汚泥に薬品（キレート剤）EDTAを添加する方法が最も有効であり、また余剰汚泥を無酸素培養する方法も有効であった。

どちらの方法も余剰汚泥中のリンが50%以上溶出するため、資源化するためにはリンの回収が必要であることが判明した。

また、元素マッピング分析で調査した結果では、MAPは余剰汚泥では確認されず、消化汚泥で確認することができたため、MAPは消化工程で形成されていることを確認した。

平成27年度は、本調査研究内容が維持管理コストの低減等に繋がるか検証する。

5 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

排水設備工事の設計・施工管理を行う際に必要な知識や技術について、資格認定や更新講習会を次のとおり実施した。

- ・排水設備工事責任技術者試験・受験講習会

平成26年9月28日(日) サンセール盛岡 受講者137名

- ・排水設備工事責任技術者試験

平成26年10月19日(日) エスポワールいわて、岩手産業会館
受験者145名（合格者88名）

- ・排水設備工事責任技術者更新講習会

平成26年11月30日(日)、12月7日(日) 岩手教育会館
更新対象者911名（更新者775名）

※平成27年4月1日現在の登録技術者数：4,734名

2 収益事業報告書

本県の下水道整備を促進するため、県及び市町村に対し、下水道施設の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行うとともに、東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧のための支援業務を実施した。

また、下水道施設の適正且つ効率的な運用を支援するため、県内市町村が管理する下水道施設の長寿命化計画の策定業務を実施した。

1 下水道施設整備支援事業

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計・積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行ったほか、東日本大震災津波による災害復旧のための設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行った。

(平成 26 年度の目標は、要請対応率 100%)

(1) 流域下水道施設整備支援

流域下水道施設の老朽化等による更新工事をはじめ、施設整備の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援

4 件、契約額 19,202,400 円 (要請対応率 100%)

(2) 公共下水道施設整備支援

下水道の専門技術者の不足している市町村への技術支援

14 市町村 41 件 契約額 91,994,910 円 (要請対応率 100%)

※平成 27 年度への繰越し 7 件、18,772,560 円含む。

(八幡平市 6 件、一関市 4 件、洋野町 4 件、軽米町 1 件、
一戸町 1 件、大船渡市 2 件、矢巾町 8 件、雫石町 1 件、
釜石市 1 件、野田村 5 件、田野畑村 4 件、滝沢市 2 件、
奥州市 1 件、花巻市 1 件)

2 アセットマネジメント支援事業

市町村の下水道施設における長寿命化計画策定を支援するため、長寿命化計画策定業務や設備台帳への基本データ入力を市町村から受託し、資料作成等の技術支援を行った。(要請対応率 100%)

① 長寿命化計画策定業務

3 市 3 件、契約額 11,216,880 円 (北上市、一関市、奥州市)

② 設備管理システム台帳データ入力業務

1 市 1 件、契約額 1,252,800 円 (花巻市)

3 管 理 部 門

1 職員の状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

組 織	職 員	嘱 託 員	臨時職員	計
事 務 局 長	1			1
企 画 管 理 課	5	2	2	9
工 務 課	6	2	1	9
県 南 支 社	8	1	1	10
県南支社都南出張所	4	0	1	5
合 計	24	5	5	34

※職員のうち岩手県からの派遣職員数は10名

2 役員等の状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

役 職 名	常勤	非常勤	計
評 議 員		5	5
理 事 長	1		1
理 事		6	6
監 事		2	2
合 計	1	13	14

3 職員採用試験

平成 27 年度採用の機械職の職員を募集し、平成 26 年 10 月 24 日(金)に採用試験を実施し、採用決定した。

4 職員研修等

職員の職務と責任の度に応じた基本研修を岩手県立産業技術短期大学校主催の能力セミナーに 10 名が受講し、また法令に基づく資格者の育成を目的とした専門研修（外部研修）に 13 名が受講した。

職員相互における共通認識や情報共有と職員個々の技術力向上を目指し、社内職員による発表や外部講師による出前講座を利用して 3 回実施した。

また、3 月には業務の適正かつ効率的な運営に向け取り組んでいる職員の取組成果について発表する「改革改善成果発表会」を実施し、表彰している。

第 1 回研修：下水道施設の耐震対策指針と解説、処理場設備（機械設備）の施工管理、リラックス（外部講師）

第 2 回研修：新下水道ビジョン、出前講座の現状と処理場見学、下水道展出版

第 3 回研修：維持管理指針の改定内容、公社技術研修の報告と次年度に向けて、公共工事の安全対策（外部講師）

第 4 回研修：改革改善成果発表会（4 名）

5 東北下水道公社連絡会議

第 27 回東北下水道公社連絡会議を当公社が当番県として平成 26 年 10 月 2 日から 3 日の 2 日間開催し、し尿の受入対策や機器の保守点検、老朽化対策などの技術的な面、また市町村への支援や事務効率化など、課題の共有と情報交換を行い、2 日目には盛岡市の雨水高速処理施設や盛岡駅西口熱供給センターなどを視察した。

公益財団法人青森県建設技術センター	(3 名)	}
一般財団法人宮城県下水道公社	(3 名)	
公益財団法人山形県建設技術センター	(4 名)	
公益財団法人福島県下水道公社	(2 名)	
公益財団法人岩手県下水道公社	(10 名)	

6 平成 26 年度財政的援助団体等に係る監査

岩手県監査委員による財政的援助団体等に係る監査（予備監査 12 月 18 日、本監査 2 月 3 日）を受検し、平成 25 年度の出納及びその他の事務の執行状況について監査された。

監査結果は、概ね良好と認められたが、留意改善を要する事項として在庫管理に不適当なものがあるので適正な事務の執行に努めることとされた。

7 評議員会及び理事会の開催状況

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所	会 議 の 主 た る 内 容
第 14 回理事会	平成 26 年 5 月 14 日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 25 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 平成 26 年度理事関係者との利益相反取引の承認について 3 公益財団法人岩手県下水道公社就業規程の一部改正の承認について 4 公益財団法人岩手県下水道公社第 9 回評議員会の招集について [報告事項] 1 平成 25 年度理事関係者との利益相反取引の報告について 2 平成 26 年度県出資等法人運営評価について
第 9 回評議員会	平成 26 年 5 月 29 日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 25 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社理事の選任について
第 15 回理事会	平成 26 年 11 月 5 日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社第 10 回評議員会の招集について [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 26 年度上半期業務執行状況について 2 平成 26 年度県出資等法人運営評価について
第 10 回評議員会	平成 26 年 11 月 27 日	盛岡市 キャンセル盛岡	[報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 26 年度上半期業務執行状況について 2 平成 26 年度岩手県出資等法人運営評価について
第 16 回理事会	平成 27 年 3 月 26 日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 26 年度収支予算変更の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社平成 27 年度事業計画及び収支予算の承認について 3 平成 27 年度理事関係者との利益相反取引の承認について 4 公益財団法人岩手県下水道公社組織規程の一部改正の承認について [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画の達成状況について

8 主たる行事及び会議等の内容

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
平成 26 年		
5 月 9 日	監事監査	公 社
14 日	第 14 回理事会（H25 事業報告等）	盛 岡 市
29 日	第 9 回評議員会（H25 事業報告、理事選任）	盛 岡 市
29 日	排水設備工事責任技術者試験運営委員会	公 社
7 月 10 日	第 1 回社内職員研修	公 社
22～25 日	「下水道展 ‘14 大阪」 出展	大 阪 府
30 日	「夏休み下水道教室」 開催	公社（北上市）
7 月 29 日～8 月 1 日	下水道公社技術研修会開催	公 社
8 月 4～6 日	第 1 回地方公営企業会計研修開催	盛 岡 市
9 月 6 日	「下水道施設見学会」 開催（都南浄化センター）	公 社
28 日	排水設備工事責任技術者試験受験講習会	盛 岡 市
10 月 2 日～3 日	第 27 回東北下水道公社連絡会議（岩手開催）	盛 岡 市
6 日	第 2 回社内職員研修	公 社
16～17 日	第 36 回全国下水道公社連絡協議会	広 島 県
19 日	排水設備工事責任技術者試験	盛 岡 市
20～22 日	第 2 回地方公営企業会計研修	盛 岡 市
24 日	職員（機械職）採用試験	盛 岡 市
11 月 5 日	第 15 回理事会（平成 26 年度上半期報告）	盛 岡 市
15 日	「なるほど！下水道 ～イオンモール盛岡～」 開催	盛 岡 市
26 日	「汚水処理連携セミナー」 開催	盛 岡 市
27 日	第 10 回評議員会（平成 26 年度上半期報告）	盛 岡 市

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
平成 26 年		
11 月 30 日	排水設備工事責任技術者更新講習会（第 1 回）	盛 岡 市
12 月 7 日	〃 （第 2 回）	盛 岡 市
9 日	第 3 回社内職員研修	公 社
18 日	財政的援助団体等に係る監査（予備監査）	公 社
平成 27 年		
1 月 24 日	「なるほど！下水道 ～イオンモール盛岡南～」開催	盛 岡 市
2 月 3 日	財政的援助団体等に係る監査（本監査）	公 社
23～24 日	地方公営企業会計適用に係る個別相談会	盛 岡 市
3 月 3 日	職員改革改善発表会	公 社
26 日	第 16 回理事会（平成 26 年度予算変更、27 年度事業計画・予算案）	盛 岡 市